

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和2年9月18日(金曜日)

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時15分 散会

付託事件

議案第133号中第2表継続費補正

1 本日の会議に付した事件

(1) 議案審査

① 議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算(第5号)中第2表継続費補正

2 出席委員(7名)

委員長	大津亮一君	副委員長	森正慶君
委員	田口文明君	委員	黒木勇君
委員	渡辺政明君	委員	栗原文隆君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(なし)

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	鈴木吉昭君	産業経済部参	川崎幹男君
産業経済部参事兼商工課長	長谷川昌人君	産業経済部技監兼農政課長	深澤和広君
観光課長	小林一仁君	農業環境整備課長	三村隆君
農産振興課長	後藤俊之君	公設地方卸売市場長	武田和馬君
消防長	小泉直紀君	消防次長	大内康弘君
消防本部参事	小林光宏君	消防本部参事兼救急課長	石田宏一君
北消防署長	勝村俊則君	南消防署長	青木剛君
消防総務課長	箕輪重美君	火災予防課長	櫻井祐一君
消防救助課長	植木和弘君		

農業委員会 横山英雄君
事務局 長

農業委員会 吉川正浩君
事務局 次長

6 事務局職員出席者

書記 大内しおり君

書記 島田祐輔君

午前10時 0分 開議

○大津委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

本日の日程は、議案第133号の1件であります。

初めに、昨日の委員会において請求しました追加工事の詳細について、資料が提出されておりますので、執行部から説明願います。

箕輪消防総務課長。

○箕輪消防総務課長 説明の前に、大変申し訳ありませんが、昨日の委員会における私の答弁内容について、訂正をさせていただきます。

昨日の委員会における、黒木委員からの現南消防署の耐震性能についての御質問に対する私の答弁の中で、耐震診断を平成24年に実施と答弁いたしましたが、正しくは平成21年に実施でございますので、訂正をさせていただきます。大変申し訳ありませんでした。

それでは、追加工事の詳細等につきまして、消防総務課提出の資料にて御説明をいたします。

初めに、建設地及び庁舎などについて、御説明をいたします。

別図1を御覧願います。

建設地は1ページ右下の案内図を御参照いただきまして、水戸南高校と市立白梅保育所の隣接地でございます。配置図中央の計画建物が消防庁舎で、庁舎南側、図面上左側に訓練スペース、庁舎北側に附属棟を配置してございます。

主な部屋につきまして、2ページからの平面図で説明いたします。

2ページをお開きください。

1階南側に主出入口及びエントランスホールを配置してございます。さらに、倉庫、救急消毒室、出動準備室などを配置しております。1階北側には附属棟を配置し、機材庫、空気充填庫などを配置しております。

次に、3ページをお開きください。

2階には事務スペース、多目的会議室などを配置しております。

4ページをお開きください。

3階には女性用スペース、厨房、食堂、男子睡眠室などの諸室を配置しております。

5ページでございますが、こちらは屋上でございます。屋上部分での訓練も可能としております。

次に、追加工事の詳細等につきまして、別図2で御説明いたします。

南消防署の移転改築事業につきましては、現庁舎の老朽化、また耐震性の不安などから、早期の建て替えを目指し、令和元年度に基本設計、実施設計を完了する予定でございましたが、設計作業に遅れが生じ、実施設計の繰越しがございましたことから、設計の途中で予算措置したものでございます。このことから、用地の地質につきましては、近隣の地質調査結果を参考に算出したところでございますが、その後、実施した地質調査の結果から、用地西側ののり面部分が当初の想定よりも弱いことが判明いたしました。

別図2の6ページを御覧願います。

山留工事、土工事、アースアンカー工事、基礎（擁壁）工事についてですが、左下の表は工事内容の比較表でございます。庁舎の断面図と同じ色で色分けしてございますので、御参照をお願いいたします。

山留工事は、工事面積に差異がございますが、親くい及び矢板をより深く打ち込むことから生じたものでございます。土工事につきましては、基礎領域の寸法が大きくなったことから生じたものでございます。アースアンカー工事は、切梁工法に代えて矢板を固定し、土留めを行うものでございます。基礎（擁壁）工事につきましては、地震力等を考慮し、安全性を高めるため、擁壁及び基礎の強化を図ることから、基礎を深く、寸法を大きく、さらに鉄筋量を増やすことにより、基礎の強化を図るものでございます。

次に、7ページでございますが、くい工事につきましては、地質の関係から、くいの太さ及び本数が増加したものでございます。くい伏図を御参照ください。実施設計時くい伏図が変更の部分で表してございます。

最後に8ページでございますが、架設工事につきましては、詳細な架設計画を検討した結果、ラフタークレーンと併せて、タワークレーンの設置が必要となったものでございます。

追加工事の詳細等についての説明は以上でございます。

○**大津委員長** ただいま説明のありました資料について、質疑のある方は、発言を願います。

黒木委員。

○**黒木委員** 詳細な資料を提出いただきまして、ありがとうございます。

この資料を見て、工事がかなり追加になっているということで、2億円というお金がどういう形で必要になったのかというのが分かりました。

資料の6枚目の別図2なんですけれども、このアースアンカーという部分なんですけど、専門の方はすぐ分かると思うんですが、アースアンカーというのはどういう役割をしているのか、ちょっと説明いただければと思います。基礎は大きく、太く、厚くなったと分かります。山留めというのも、南高校のグラウンドからの土を止めるために高くなったと分かるんですが、アースアンカーというのがちょっと素人ですと分からないので、ちょっと説明いただければと思います。

○**大津委員長** 箕輪消防総務課長。

○**箕輪消防総務課長** ただいまの黒木委員の御質問のアースアンカーの件でございますが、別図2の6ページの山留めと赤い線が入ってございますが、こちらが親くい横矢板、要は矢板でございます。こちらで山留めしながら工事を行うわけですが、地質が弱いため、さらにアースアンカーでワイヤーロープを土中の岩盤に直接打ち込みまして、矢板が倒れないように支えるものでございます。

説明は以上でございます。

○**大津委員長** 黒木委員。

○**黒木委員** 7ページなんですけれども、1,200のくいが15本にかなり増えているのが分かりました。これ、地質調査をして、弱いということでこういう形に変更になったんですね。

あと、8ページに関しまして、タワークレーンとラフタークレーン、2台ありますけれども、2台とも追加になったのか、1台が追加になったのか、くいと併せてもう一度説明願います。

○**大津委員長** 箕輪課長。

○**箕輪消防総務課長** ただいまの黒木委員のクレーンについての質問でございますが、当初ラフタークレー

ンでの作業、架設工事の予定に対しまして、タワークレーンを追加ということでございます。

以上でございます。

○**大津委員長** ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○**大津委員長** ないようですので、議案第133号についての質疑を終わらせていただきます。

それでは、付託議案については、一通りの質疑を行いましたので、これより議案第133号について、御意見等を伺いながら、採決に入ってまいりたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**大津委員長** 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより御意見等を伺いながら、採決に入ります。

採決の方法は、挙手によりお願いします。

議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算（第5号）中第2表継続費補正について、御意見等がございましたら、お願いいたします。

黒木委員。

○**黒木委員** 今、追加資料をいただきまして、説明いただきました。

実際に建築するのは、水戸市の建設部の建築課ということで、これから進めていくということで分かるんですけども、所管に関しましては消防本部になりますので、しっかりこの部分は、今後も委員会で説明できるようにお願いしたいと思っております。

現在の南消防署は、先ほど課長から発言の訂正がありましたが、平成21年に耐震の診断が行われて、耐震能力が不足しているということが判明しております。また、その後東日本大震災が発生し、その影響を受けて、昨日も答弁がありましたが、1階部分が傷んでいて弱っているということも、昨日説明いただきました。また、国の地震調査研究推進本部によりますと、茨城県沖でマグニチュード7から7.5の地震発生の確率が30年以内に80%ということも公表されております。このことから、早期の移転、それに改築が必要ということで、この事業が進められているわけですが、今回、2億円という大きなお金が継続費補正という形で出てきました。非常に大きなお金ですので、私も昨日の資料ではちょっと理解しがたかったので、今日追加の資料をいただきまして、地盤の弱さゆえに基礎を大きくすること、また、山留めの土が崩れてこないようにすること、くいも多くしたということ、また、クレーンが1台追加で必要になったということで、追加の2億円の内容を確認することができました。

このたびの継続費の増額補正は実施設計の結果、基礎工事の見直し及び山留工事の見直し、仮設工事の見直しが追加で必要となったものでありますけれども、工事内容の見直しにより施設の完成時期が遅れることのないように、今後しっかりと建設部の建築課と連携を取りながら、消防本部も責任を持って、この移転改築工事を進めていただきたいというふうに要望いたしまして、私の意見とさせていただきます。

○**大津委員長** ほかにございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○**大津委員長** ないようですので、議案第133号について採決します。

議案第133号中第2表継続費補正について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

[賛成者挙手]

○**大津委員長** 総員挙手であります。

よって、議案第133号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました議案の審査は終了しました。

なお、この際、本会議における委員会報告書について、お諮りします。委員会報告書の作成については、正副委員長に御一任願いたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○**大津委員長** 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

次に、閉会中所管事務調査についてを議題とします。

本件については、お手元に配付しました閉会中所管事務調査一覧表のとおり、当委員会から議長に対しまして申出をしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○**大津委員長** 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

それでは、以上をもちまして本日の産業消防委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時15分 散会